

2022. 10

vol. 119

改訂版 vol. 49

女性委員会だより

らくだ



公益社団法人 岐阜県建築士会

〒500-8384 岐阜市藪田南5丁目14番12号

岐阜県シンクタンク庁舎4階

〈電話〉(058) 215-9361 〈FAX〉(058) 215-9367



はじめに

女性副委員長 岡田 利里

引き続き副委員長を務めさせて頂いております。よろしくお願いたします。

オンラインが主だった昨年までとは違い、今年度は対面での活動も増えて、ZEB セミナーや、施設見学会、全建女(東京)にも参加することができました。やはり、皆様とお会いして活動が出来ると、オンラインでは遠慮してしまいがちな、ちょっとしたことも話せたりするので、少しほっとしております。

令和5年2月には東海北陸ブロック会の後期『ぎふ下呂大会』を岐阜県で開催します。私は、他県の大会にはオンラインでしか参加経験がありませんし、岐阜県での開催ももちろん未経験です。今回のブロック会議は、オンライン+対面という初めての方式で行うため、対面だけ、オンラインだけとはまた違う難しさもあります。

今年度は新しい女性委員さんも参加いただけるようですし、高野委員長の元、岐阜県の女性委員で協力して、岐阜県の魅力も知ってもらえるような良い大会に出ればと思います。



今回の記事

- ◇ はじめに
- ◇ 今回の記事
- ◇ 今後の予定・お知らせ
- ◇ 建築士会 東海北陸ブロック会女性建築士協議会 令和4年度前期定例(愛知)会議
日 時: 令和4年6月25日(土)
会 場: WEB 会議(開催幹事県: 愛知県)

◇施設見学会「下呂水明館」

日 時: 令和4年7月6日(水)
会 場: 下呂 水明館

◇ 令和4年度

第31回全国女性建築士連絡協議会(東京)
日 時: 令和4年7月17日(日)~18日(祝)
会場: ハイブリッド開催
日本建築学会建築会館

◇ セミナー「ZEB とは？」

日 時: 令和4年7月21日(木)
会 場: ハートフルスクエア G 研修室50

◇ 新会員紹介

◇ 編集後記



今後の予定・お知らせ

◆第64回建築士会全国大会「あきた大会」

日時: 令和4年10月14日(金)

◆ 令和4年度 建築士会東海北陸ブロック会 女性建築士協議会 後期ブロック ぎふ下呂大会

日時: 令和5年2月25日(土)~26日(日)



東海北陸ブロック会女性建築士協議会

令和4年度前期定例（愛知）会議

日時: 令和4年6月25日(土)

9:30~12:20

会場: WEB 会議(ZOOMZOOM ミーティング使用)開催

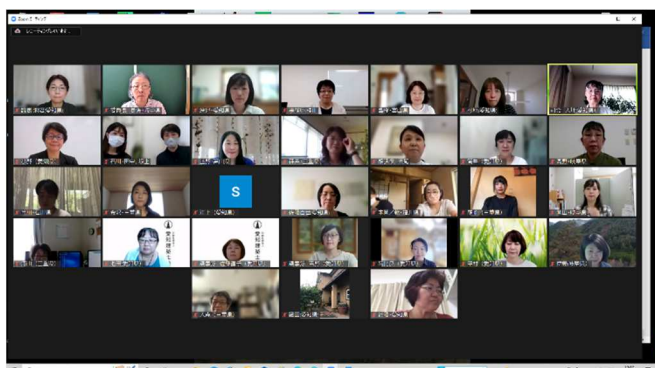
幹事県: 愛知県

参加者: 33名(岐阜県5名参加)

今回愛知県の方は全て個人でのリモート参加でした。各県の一部の方は、集まっての参加にはなりましたが、運営サイドが全てリモートの形態は始めてだったと思います。これから、いろいろな事を試して、行く必要があるのだと思います。



(↑ 冊子とお菓子)



(↑ 集合写真)

◆令和4年度

前期定例(愛知)会議に出席して

報告者: 高野 栄子

・東海北陸ブロック会 女性建築士協議会 令和4年度前期会議が開催されました。

いまだコロナの収束は見えず、今年度もWeb会議でした。オブザーバー参加の方も含め、33名の方が東海北陸各地からWeb参加されました。

コロナ渦も3年目に入り、皆さんWeb会議に慣れ、特に問題もなくスムーズに会議は進みました。

決算報告や事業報告、事業計画などは例年通り採決されました。その後協議事項は時間を掛けて丁寧に慎重に審議をしました。

協議事項について報告いたします。

① 令和4年度 ブロック会(ぎふ・下呂)大会について

・開催方法について

福井県 対面参加が多数

石川県 対面の方向

富山県 対面参加予定は1名(会議だけでもハイブリッドを希望)

三重県 個人的理由でWebを希望、ハイブリッドの方が参加者も増えるのではないかと

愛知県 出来たら会議だけでもハイブリッド開催を希望

→岐阜県に持ち帰って検討することになりました。

② 令和5年度 前期定例(富山)会議について

・6月の第4土曜日は富山にて行事が予定されており変更を希望されました。

次年度は6月の第4土曜日以外の日程になります。

③ 今年度予算(案)について

・前期会議において会議以外に附帯事業を行うために上限 10,000 円で実費の助成金を出す事に決まりました。

・全建女にて交流会の1×1を対面参加にて担当する県に助成を行う事になります。

金額は 3000 円程度です。

今年度1×1担当の富山県で6県が1巡するので
次年度より実施予定です。

④ 前期定例会議の形態についてはWeb会議のみと
決まりました。

⑤ 定例会議資料(冊子)について

- ・Web会議の場合はデータ送信のみとし各自で印刷
します。
- ・対面会議の場合は事前にデータ送信し会場では印
刷物を配布します。
- ・ハイブリッド開催の場合、会場は印刷物配布、ウェブ参
加はデータ送信のみとします。

⑥ 規約の追記について

全国で利用できるゆうちょ銀行で口座を開設するた
めに、規約に住所地と設立年月日を追加します。

⑦ その他（全建女 石川大会について）

次年度全建女は、R5年 7月29日(土)30日(日)に石
川県金沢市にて開催されます。その準備の為、石川
県が活動する経費の支出を協議会にて検討してほしい
との提案をされました。各県とも特に問題無いとい
う意見で、特別積立金より支出されることになりました。

移動時間が短く、会議に出席するハードルが下がった
とは思いますが、Webでは参加者同士の意見交換が難
しく岐阜県としての意見が私個人の意見になってしまう
ことを懸念しました。今回、私は常識的な範囲で意見を
述べました。事前に提示され県の委員会で検討して
ある項目はいいのですが、直前や当日に提案される事
項については、副委員長と相談できる状況で参加し
なければ、いくつかの意見に困りました。今後の検討
事項だなと思いました。

以上 前期会議の報告をいたします。

会議の終了予定時間は 12:00 でしたが、20分のオー
バーで終了しました。

午後13時より、前期定例愛知会議の付随事業として
女性委員会主催の講習会が予定されていました。
会議参加の多くの皆さんが、引き続いて講習会にも
参加されていました。



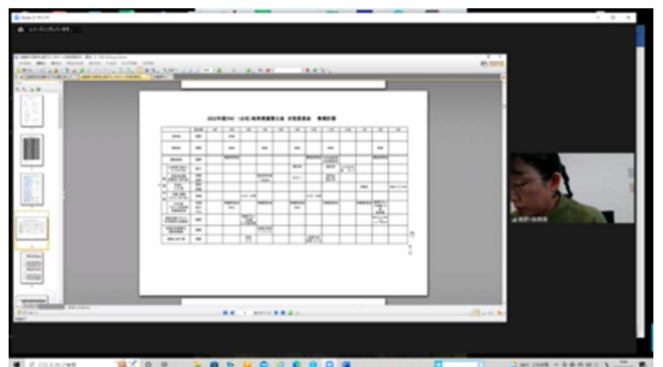
(愛知県女性委員長 深見さんの挨拶の様子)



(来賓として愛知建築士会会長 濱田修氏 挨拶の様子)



(司会者による お菓子の紹介。今回は餅文総本店の
金鯨ういろでした。)



(岐阜県の事業計画案の説明の様子)

◆愛知建築士会女性委員会主催の セミナーに参加して

報告者:長瀬 八州余

日時:令和4年6月25日(土)13:30~16:00
 場所:オンライン開催(Zoom ミーティング)
 テーマ:「居住支援と地域福祉~care by the community
 に向けて建築にできることは何か~」
 講師:井上由起子氏
 (日本社会事業大学専門職大学院 教授)

自分の周りのお年寄りも、デーサービスを利用しているぐらいで、私としては、養護ホームとか、特別養護ホームの違いも知らない状態での受講となりました。

日本の戦後からの老人ホームの歴史の話から始まり、どのように施設の体制が変化してきたか、その中で外山義氏の役割が大きかったとの説明、参加者の中には著書を持っていた方もおり、一度読んでみたいと思いました。

個室の必要性についても、気心が知れた状態になってからの、共同ならまだ対応は可能かもしれないが、全くの他人同士が、共同の部屋というのは、すごいストレスが係るので、個室は必要との説明を受けました。全くその通りだと思いました。

いろいろは施設の写真を見て説明を受けました。外に開かれていて、誰でも立ち寄れて、気がつくところ、福祉施設だという流れにしていきたいと言うことでした。

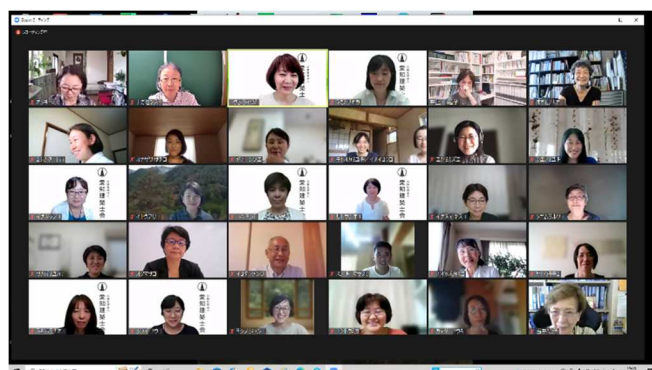
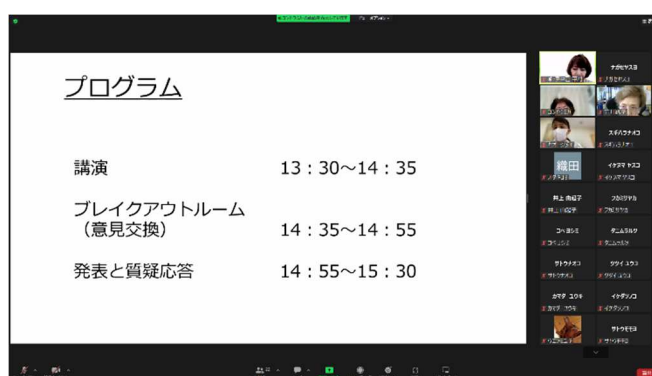
名古屋の「ソーネおおぞね」の施設の説明をしていただきました。(名古屋市北区山田2丁目11-62 大曾根住宅1棟1F)

昔の様な施設然とした物ではなく、もっと地域に溶け込んだ物にしていく必要があるとの事で、そこで建築がどう関わってけるのかが問われているようです。

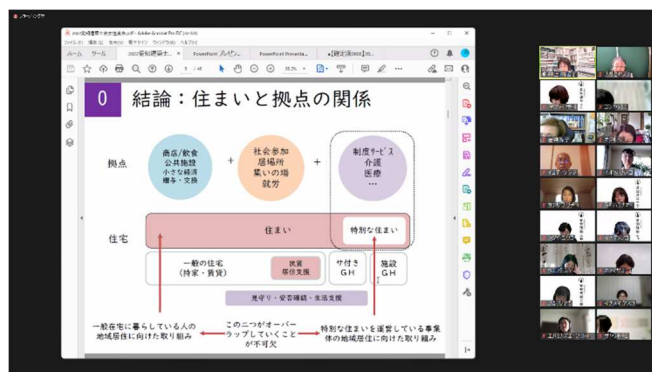
先生の講習後、参加者33名を5つのグループに分けて、20分ほど、意見交換をします。私の参加したグループは6名で、中には神奈川県から、peatixのセミナーのテーマを見て、気になったので、急遽参加しましたという方がいました。

グループトークでの疑問を、先生に答えていただき、セミナーは、終了となりました。

私にとって、あまり関わってこなかったテーマではありましたが、これを機会に少し勉強をしてみようと思いました。



(↑集合写真)





施設見学会

「下呂 水明館」

日時: 令和4年7月6日(水)

15:15~16:15

会場: 水明館

岐阜県下呂市幸田1268

TEL: 0576-25-2800

参加者: 6名

◆施設見学会に参加して

報告書: 長瀬 八州余

第2回女性委員会を下呂市民会館にておこない、終了後、令和4年度「ブロック会ぎふ下呂大会」にて、懇親会、宿泊、事業発表をおこなう予定の、下呂温泉水明館にて、会場の説明を受けました。

下呂市民会館から徒歩で15分ぐらいかかりました。飛騨川沿いに歩くので、今の時期は川風が気持ち良かったです。2月の会議が終わった夕方に歩くのは、危ないように思いました。

ホテルのバス使用を検討していただく要望を伝えました。

入り口奥のロビーにて、水明館の建物全体の説明を受けます。



(↑担当者より、建物全体の説明を受けている様子)

大きなお風呂は3カ所あり、それぞれ特徴があります。飛泉閣9階のお風呂は天望が良く、山水閣3階のお風呂

は広さが一番で、山水閣1階のお風呂には露天風呂があります。

大会当日皆さんが満足していただけると良いと思います。

懇親会場の「鶴亀の間」へ向かいます。

床の間が電動で動くので部屋の大きさを調整できるということです。土曜日の夜は花火が上がるので、来年の2月も続いていれば、廊下から眺める事ができるということです。



(↑「鶴亀の間」の様子)

事業発表予定の会議室「緑風の間」向かいます。広いきれいな部屋です。



(↑「緑風の間」の様子)

水明館には能舞台があり、それも見学しました。常時見学可能です。



(↑能舞台の様子)

能舞台の近くに茶室「水幸庵」があり、中の見学はできませんでしたが、近くまで行く事はできました。雰囲気の良い庭園でした。

至る所に、美術品が展示してあります。

宿泊の部屋を見学です。飛泉閣の527号室を見学します。



(↑527号室の様子)

懇親会后、皆で集まる場合、岐阜県の泊まる部屋は和室の大きな部屋が希望と話したら、それは山水閣の方になると言うことで、そちらに移動します。

岐阜県だけ、離れて皆さんに移動をしていただくのも大変なので、山水閣の方でまとめていただくようにしようと、今後委員会で相談予定です。

宿泊の部屋を見学することができて良かったです。

施設を見学することができて、相談するときに想像ができるので、良かったと思いました。



令和4年度 第31回

全国女性建築士連絡協議会

(東京)

★令和4年度 第31回全国女性建築士連絡協議会(東京)

日時:令和4年7月17日(日)~18日(月 海の日)

会場:日本建築学会建築会館とZOOM

東京都港区港区芝5丁目26ば番20号

参加者:約300名

(岐阜県から 対面4名、リモート2名)

テーマ:「未来へつつなく居住環境づくり」~これからの快適な健康な住まい~

.....プログラム.....

【17日(一日目)】

【開会式】13:30~13:50

於:日本建築学会建築会館ホール/ZOOM

- ・開会の辞
- ・主催挨拶 公益社団法人 日本建築士会連合会 会長 近角 真一
- ・委員会担当副会長挨拶 公益社団法人 日本建築士会連合会 副会長 淡路 孝次
- ・委員長挨拶、運営説明 公益社団法人 日本建築士会連合会 女性委員長 本間 恵美
- = 休憩(換気)13:50~14:00 =

【活動報告】14:00~14:45(45分)

- ・「わたらしい住まいづくり 30年のあゆみ」活動報告 愛知建築士会 池沼 靖子
- ・「大和郡山城下町歴史的建造物を活かしたまちづくり」 奈良県建築士会 徳本 雅代
- ・「大阪市高齢者住宅改修費給付事業審査業務について」 大阪府建築士会 曾我部 千鶴美

【被災地報告】14:45~15:00(15分)

- ・「東日本大震災の体験談~陸前高田市~から考える防災について」 岩手県建築士会 大坂 久子

= 休憩(換気)15:00~15:15 =

[基調講演] 15:15~17:00(90分+換気15分)

・「これからの快適で健康な住まい」

講師：早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授
田辺 新一 氏

= 休憩(換気)16:00~16:15 =

<質疑応答>45分 コーディネーター 石貫 方子

= 休憩(換気)17:00~17:15 =

[交流会] 17:15~18:15(60分)

於：日本建築学会建築会館 ホール

・ワンバイワン 17:15~17:30 (福島県・新潟県・富山
県・京都府・香川県・熊本県)

・交流会 17:30~18:15

【18日(月・祝)二日目】

[分科会] 9:00~11:00(120分)

於：日本建築学会建築会館会議室 /ZOOM

[全体会] 11:15~12:00(45分)

於：日本建築学会建築会館ホール/ZOOM

・分科会報告(3分×7分科会) 各分科会司会者

・全体総評 連合会女性副委員長 筒井 裕子

・令和4年度第31回全国女性建築士連絡協議会アピ
ール 連合会女性委員長 本間 恵美

・第64回全国大会あきた大会参加のご案内
秋田県建築士会女性委員会

・令和5年度第32回全国女性建築士連絡協議会(石川)
参加のご案内
石川県建築士会女性委員会

・閉会の辞

◆全建女をリモートで参加して(全体を通して)

報告者：下川 滝美

今回は7月17日午後1時30分からの開会式から18日
全大会まですべてにリモートで参加をしました。自宅に
居ながら参加できたことをとてもうれしく思います。

今頃は駅に着いたかなとか分科会に間に合うようにと
朝食を早く食べて小走りに会場に向かったことを思いだ
しながら参加をしていました。

何度も参加した会場なのでリモートですが会場にいるよ
うな気分でした。

全大会・基調講演・活動報告・被災地広告は ZOOM ウ
ェビーナなので一方通行の報告、

分科会は ZOOM ミーティングで双方向のやり取りがで
きました。

大きな大会なのでご準備も大変だったと思います。

リモートの課題ですが、今回は皆さんマスクをつけてい
るので音声の調整が難しかったようです。また Wi-Fi
のせいなのか音声がダブったように聞こえてリモートの
難しさを感じました。画面ももう少し鮮明だと見ていてわ
かりやすかったのですが文字がぼけたようになっており
残念でした。リモートの参加者は画面と音声だけが頼り
なので次回は改善されると良いなと思いました。

最後に会場の様子も見れたら嬉しかったなと思いま
した。



(↑二日目 全体会での第64回全国大会あきた大会の
案内の様子、
秋田県の他に東北ブロックの委員長さん達が参加)

◆令和4年度 第31回全国女性建築士連絡 協議会(東京)に参加して

報告者：長瀬八州余

令和4年7月17日(日)~18日(月)(海の日)の二日間
日本建築学会建築会館と ZOOM にてハイブリッド開催
でおこなわれた全建女に岐阜県からは私を含め4名は
対面にて、リモートで2名が参加をしました。

17日(一日目)

全国女性委員長会議は、日本建築学会建築会館ホールにておこなわれ、オブザーバーを含め近角会長以下65名の参加があり、そのうち委員長でリモート参加は13名でした。



(↑全国女性委員長会議の様子)

開会式が13:30から始まり、換気休憩10分を挟んで、活動報告(愛知県、奈良県、大阪府)被災地報告(岩手県)、換気休憩10分を挟んで基調講演と質疑応答がありました。

お茶、ジュースの紙パックの提供があり、リアルのみで、交流会がはじまります。

17:15～ワンバイワンがあり、福島県、新潟県、京都府、香川県、熊本県、最期に富山県が録画での参加でした。1分間の発表ですがなかなかその時間には収まりませんでした。録画の富山県は1分キツカリでした。

その後交流会です。久しぶりに会う人ばかりで、声を掛け合い、近況等の話をしました。



(↑交流会の様子)

18日(二日目)

9:00～分科会が始まります。会場は、日本建築学会建築会館会議室(3階、5階)とZOOMです。

岐阜県からは

C分科会:リアル1名・リモート1名、
D分科会:リアル2名・リモート1名、
E分科会:リアル1名の参加でした。

11:15～会場を日本建築学会建築会館ホールに移動して、全体会です。

各分科会の報告です。



(↑A分科会 発表の様子)



(↑C分科会 発表の様子)



(↑G分科会 発表の様子 司会者はリモート参加でした)

本間委員長のアピールの読み上げがあります。



(↑全体会での本間連合会女性委員長)

ここで、第 64 回全国大会あきた大会の案内がありました。



(↑全体会での第 64 回全国大会あきた大会の案内の会場での様子)



(↑あきた大会の PR 前の秋田県の準備の様子)

その後、令和5年度第 32 回全国女性建築士連絡協議会(石川)の案内がありました。

石川県から3名の参加があり、金沢の動画を流してアピールをされて、東海北陸ブロック会から6県の参加者が起立してブロック会として団結のアピールをしました。石川大会は令和5年7月29日～30日 金沢市文化ホールにておこなわれます。



(↑リモートからの石川県のアピールの様子)



(↑会場からの石川県のアピールの様子)

今回は建築会館のギャラリーにて「ミニ畳制作 ワークショップ」が二日間にわたり開催していました。制作した作品は持って帰ることができます。好みの畳表と縁を選んで制作します。畳職人さんが一人ずつついて、いろいろ教えてください制作できました。い草や、畳表の展示もしてあり、パンフレットも置かれて、いろいろな説明を受ける事ができました。

◆全国女性委員長(部会長)会議 報告

報告者:高野 栄子



(↑畳表と縁が並べられており、その中から好きな物を選べます。)



(↑制作風景。右手側のギャラリーでは、昨年度提出したポスターセッションのポスターが展示されていました。)



(↑長瀬の作品。1日1個で二日間で2個作りました。)

初めてのハイブリッド開催で、音声が聞こえなかったり、映像の途切れ等の事があったと聞きましたが、会場参加では不都合を感じることなく、終わることができました。ハイブリッドでの開催の数をこなして、慣れて行くしかないのかと思います。

役員の皆様は本当にお疲れ様でした。

コロナ渦で、3年ぶりに全国女性委員長会議が対面とWebのハイブリッドで開催されました。久しぶりに東京の建築会館に行きました。最近ではWebでしかお目にかからない方々に久しぶりにお目にかかれて良かったです。

各県の活動報告はリレー方式で各1分間、南から順番に行われました。先にWeb参加の方から発言し、その後対面参加の方が南から順番に発言しました。マイクが2本用意されていて交互に使用しスムーズに進みました。予想外に早く終わりました。コロナ渦で思うように活動が出来ない中、各県いろいろ工夫しWebを活用しながら様々な事業に取り組まれている様子を知ることが出来ました。久しぶりにとてもいい刺激になり今後の委員会活動の参考になりました。

R5年度の全建女は石川県で開催されます。次回は分科会の内容も見直し、数も減らし、参加者も限定して行うようです。今までのやり方を変えていくような会になるようです。

R6年度の全建女は東京の予定です。

その他、全建女で以前から取り組んでいる「魅力ある和の空間」は登録件数も充実し、現在内容を精査中で、ホームページのリニューアルもしているようです。近日中に再度アップされるとのことです。



(↑会場の席は決まっています、壇上のスクリーンにはリモート参加の各県の委員長が映っています。)



(↑会場内での発言の様子)



(↑会場での各県の活動報告の様子)



(↑富山県活動報告の会場での様子
東海北陸ブロック会からリモート参加の富山県女性委員長)



(↑三重県活動報告の会場での様子
東海北陸ブロック会からリモート参加の三重県女性委員長)

◆活動報告

(愛知県・奈良県・大阪府)の報告

報告者: 桂川 麻里

愛知県の「わたらしい住まいづくり」、奈良県の「大和郡山城下町歴史的建造物を活かしたまちづくり」、大阪府の「大阪市高齢者住宅改修費給費事業審査業務について」の報告を聞きました。

私が愛知県の活動を知ったのは第27回の回に出席させて頂いた時です。講習とパネル展示を見て、この活動を27年も続けてきてすごいなと思ったことを覚えています。今回立ち上げから30年という節目で幕を下ろしたとまでを報告して頂きました。住まいの無料相談会やミニセミナー、ワークショップ形式を取り入れる等、同じことの繰り返しではなく順番により良くしようと色々な方法を試してきたことが分かりました。また、日々の生活に追われ忘れがちな時代の流れをいち早く察知しそれをテーマに住まいづくりに取り入れて、でも女性目線を忘れない、とても良い活動だったと思いました。

奈良県の大和郡山は行ってみたいところの一つです。私のイメージでは奈良県民は歴史的建造物に対する価値を分かっていると思っていましたが、やはりどの県とも同じで失われていく建物がたくさんあったのだと知らされました。町家所有者に地道に聞き取り調査をしたり、建築士会員以外の関心のある学生グループ、観光ボランティア、市役所職員と協力したりして町屋や空き家の活用の幕が開いたということで、本当に細かく地道な努力が必要だと思いました。私自身もヘリテージマネ

ージャーの養成講座を受けている途中ですが、保存が大事だと思っていたので、活用が出来なければなかなか維持が出来ないと教わって、大和郡山のお話を聞いて本当にそうだと実感しました。今までの旅行とは違った視点で大和郡山に旅行に行けたらと思います。

大阪府のお話は、私としましてはとても興味深い内容でした。岐阜県では「介護保険適正化支援業務」を2つの広域連合と岐阜県建築士会として業務提携しています。そのチェックだけでも大変ですが、それを「介護保険」、「大阪市高齢者住宅改修費給付事業」「自費」の3つの項目について審査をするというのはとても大変なことだと思いました。ただしそれが大阪市からの要請で入札してというのはボランティア的なことにはならないのだとうらやましくもあります。また、大阪市は、建築士が必要とされていてくれることがとても素晴らしいことだと思いました。書類の不備が多いのはというところでは、岐阜県で行っている中で出てくる申請書の内容の不備と同じでした。もしかして全国的にこのような状態なら、介護保険等とても無駄なお金が使われているのでは？と心配にもなりました。個人的にはもっと色々な内容をお聞きしたかったです。

3府県ともとても興味のある内容ばかりで、短時間の報告ではもったいないような内容でした。

◆被災地報告(岩手県)の報告

報告者:桂川 麻里

岩手県建築士会の「東日本大震災の体験談～陸前高田市～から考える防災について」の報告を聞きました。

今まで私が聞いたことのある被災地報告は被災後の現在や復興の内容でしたが、今回は体験談から考えるということで、体験のない私はとても興味深く聞かせて頂きました。

岩手県の建築士会会員の中でも内陸の方がほとんどで、実際に体験した方は少ないようで、勉強会として実

際に体験された高校の教員であった方のお話を聞いて勉強されたそうです。

地震発生時の様子から一次避難の様子までを写真と共にお聞きし、「地震発生時から 生徒の避難行動のパターン」をお聞きしました。本当に少しのことで生死を分けたことには残念でありませんが、岐阜県は海なし県なので私もその場にいれば巻き込まれていたひとりとなっていたかと思いました。

まとめでは「ここ10年、震災の話を学校内ですることがほとんどない」ということだそうですが、この全建女で被災地報告を聞いてなければ私も震災の内容はほとんど勉強することはありません。これからも続けて欲しいと思いました。

◆基調講演 報告

報告者 岡田 利里

テーマ:これからの快適で健康な住まい

講師:早稲田大学創造理工学部建築学科 教授 田辺 新一氏

3年前に、建築物省エネ法の改正(300㎡以上の非住宅建築物のみが適合義務で、300㎡以上の住宅は届出義務、300㎡未満の非住宅、住宅は努力義務となる)の講習会を受けたばかりなのですが、また先月、改正建築物省エネ法が成立しました。

菅前首相が2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを表明してから、

法律も、人々の意識も、どんどん変わってきているように思います。

今年度の全建女で基調講演をされた田辺先生は、「衆議院経済産業委員会の省エネ法関連法案審議」に参加され、今回の省エネ法の抜本的な改正に携わられたり、WHOにCOVID-19の空気感染の可能性に関する公開書簡を提出した36名の科学者の一人であられる方です。

盛りだくさんのお話の中から、理解できた範囲でいくつかを挙げます。

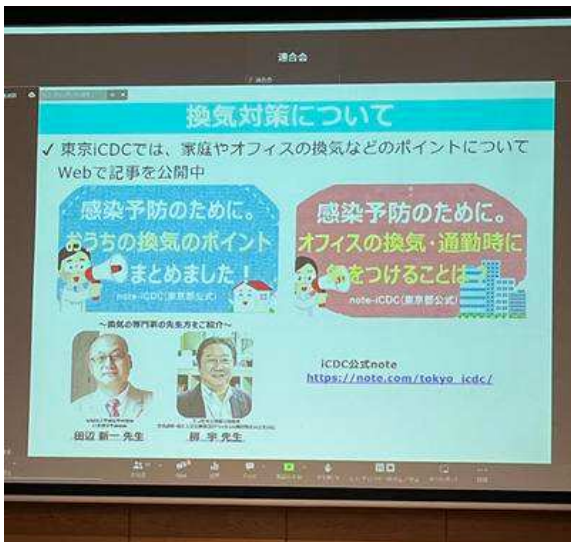
・日本の二酸化炭素排出量のうち、30%が住宅・建築分野から出ています。自動車もEV化が進んでいますが、二酸化炭素排出量に占める割合は16%であることから、車よりも貢献できるのが建築である。

・太陽光パネルを作った時に出るCO2は、設置後2年程度で回収できるので、光熱費も上がっている今、できるだけ付ける方が良い。

・付加断熱が必要となるHEAT20のG3まではしないと、UA値0.87以下を目指した方が良い。

・温室効果ガスの吸収源対策の強化という面でも、木材は有効で、建築物の木質化も重要。

一日の大半を過ごす建物の性能は、人間の健康にも、地球規模の環境にも大きく関与するものだと思います。建築に携わる私たちが、普段の設計などで社会貢献していければよいと感じました。



(↑会場の様子)

【分科会リスト】

・A分科会「オンラインセミナー役立つ運営ノウハウ伝授します！」

司会者：齊藤 裕美（北海道建築士会）

コメンテーター：村越のぞみ（福島県建築士会）

コメンテーター：東 英輝（岩手県建築士会）

・B分科会「空き家対策の活動」／民泊×観光地の取り組み

司会者：鈴木 深雪（福島県建築士会）

コメンテーター：酒井美代子（福島県建築士会）

・C分科会「福祉まちづくり」／建築士の介護知識

司会者：櫻井 澄子（栃木県建築士会）

コメンテーター：田野 恵（千葉県建築士会）

・D分科会「たてものを使い繋ぐために」

司会者：大森 尚子（三重県建築士会）

コメンテーター：本岡 美由希（福井県建築士会）

コメンテーター：乾 陽子（福井県建築士会）

・E分科会「景観まちづくりと建築士・京都景観フォーラムでの活動」

司会者：市川 真理（滋賀県建築士会）

コメンテーター：内藤 郁子（京都府建築士会）

・F分科会「愛媛の古建築を訪ねての本ができるまで」

司会者：大塚 美由紀（愛媛県建築士会）

コメンテーター：文化財・まちづくり委員会

（愛媛県建築士会）

・G分科会「古きものを活かす」

司会者：竹崎 由美子（宮崎県建築士会）

コメンテーター：内田 恭代（宮崎県建築士会）

岐阜県はC分科会、D分科会、E分科会に参加しました。

◆C分科会「福祉まちづくり」／建築士の基礎知識」に参加して

報告者：下川 滝美

いつもの形での分科会の様子をリモートという形で参加ができたのはとても嬉しいことでした。建築会館の会議室で会場のみなさんと同じように発表者の報告を聞き、また会場からの質問もこじんまりと会場だったこともあり会場で聞いているような感じがしました。

C分科会の参加者は会場とリモートと合わせて54名でした。音声のトラブルや画面共有がうまくいかないこともあり残念な面もあったのですが分科会としては有意義な時間をすごすことができました。

千葉県建築士会の田野さんは以前からこの分科会で報告を受けていたのでどんな活動をしているかが今回じっくりお聞き出来てよかったです。

思いはみな同じで建築士がこの分野にかかわることで利用者の本位でない改修のトラブルを防ぐことができる。住宅改修をするには多職種との連携が大切で福祉用具の知識はとても重要ということにも共感しました。

昨年2月に千葉県の「建築士の介護基礎講座」に呼ばれて「岐阜県の福まち建築士」の立ち上げの話を見せてもらいました。女性建築士の連絡協議会の輪が分科会を通してこれからも広がっていくことを期待したいと思います。



(↑C分科会 配付資料)

◆D分科会

『たてもものを使い繋ぐために』に参加して

報告者: 田中 佐企

福井県建築士会、ふくいヘリテージ協議会の方々による文化的建造物や空き家を改修し活用している事例を紹介していただきました。

事例としては、

- ・音楽関係者である所有者が実家の古民家をコンサート等のイベント会場として活用
- ・デザイナーがUターン企業の際に実家の古民家をオフィスとして改修し、使っていない部屋をレンタルスペースとして貸出
- ・地域の空き家を大工が借りてリノベーションし、工房などとしての活用事例を発信

など、どれもが建物と持ち主の記憶を残しつつ上手く活用されている様が伝わりました。

福井では、コンシェルジュサイトを立ち上げ、県の文化財をはじめとした歴史的建造物等を活用し、保護し、発信し、地域の活性化につなげるプロジェクトを進めてい



(↑C分科会 リモートからの様子)



(↑C分科会 会場からの様子)

るそうです。

県独自の制度により、保存活用地区を指定し、改修工事の補助を行うなど、ヘリテージ協議会と行政が連携して行うことで可能になっていることがよく分かりました。しかし日常の業務で痛感することは、文化財等は勝手に解体されてなくなってしまうことは少ないけれど、民間の住宅などはなかなかそこまで把握できないということです。

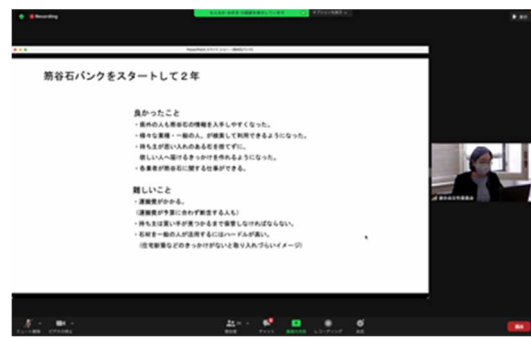
発表の中でもおっしゃっていましたが、多くの人たちに存在を知ってもらうこと、使えることを伝えることがとても大切だと思い、大変参考になりました。



また、興味深かったのは「笏谷石(しゃくだにいし)バンク事業」のお話でした。

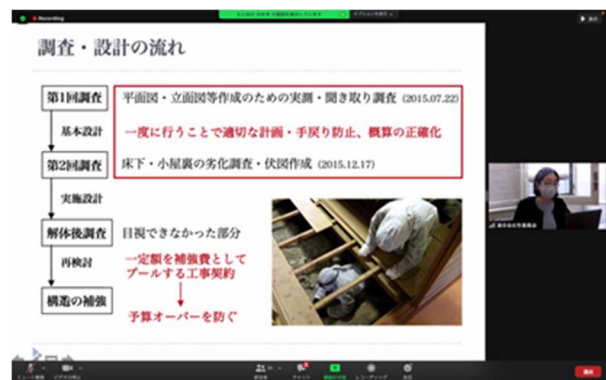
福井で採掘されていた笏谷石は 1998 年に採掘が終了し、現在は在庫と再利用のみとなっているそうです。その為、解体等により採石場で粉々にされてしまうのを避けるため、笏谷石を売りたい人と買いたい人をつなぐサイトを作り、地域の素材を次世代へ繋ぐ取り組みをしています。

石材の保管の問題や運搬費など課題も多いとのことですが、これは解体現場の古材などにも活用できる仕組みではないかと感じました。



最後に伺ったのは、住宅医の手がけた改修事例の紹介でした。

住宅医とは、「木造病理学」に基づき、構造・温熱・省エネ・高齢者・防火・耐久性等、既存建物の改修に必要な講義を受け、知識だけでなく、分析力、技術力、実践力が備わっていると認定された建築士のことです。岐阜県立森林文化アカデミーで受講することができ、私も2年間アカデミーに通い履修終了しています。しかしながら、なかなか実践に移す現場に巡り合えず、未だ認定会で発表できておりません。今後は、是非とも実践し、改修時の頼れるパートナー(かかりつけ医)になりたいものです。



質疑応答では、改修工事時における200㎡までの緩和

制度やアスベストの対処について等が挙げられました。いずれも正に意見交換したい内容であったので、現地参加していれば良かったなどと残念に思いました。



今回、女性委員会に入会して初めての全国大会で、分科会の内容はとても有意義なものでした。ただ一点、zoomでの参加で会場の音声が聞き取りづらかったのはとても残念でした。質疑の内容や応答もはっきり聞き取れたら良かったなと思いました。



(↑福井県からのコメントーターの本岡さんと今出さんはリアル参加で、乾さんはリモートでの参加でした。後ろに見える窓は換気のために開いています。)

◆E分科会に参加して

報告者 岡田 利里

テーマ：「景観まちづくりと建築士・京都景観フォーラムでの活動」

コメントーター：内藤 郁子氏(京都府建築士会)

コメントーターの内藤郁子氏は、30年以上京都の景観に携わってこられ、2007年に京都市で「新景観政策」が施行された翌年、「NPO 京都景観フォーラム」を立ち上げられました。その活動報告と意見交換がE分科会では行われました。

興味を持ったのは、建築を含む様々な分野の専門家あるいは地域の人々が、基礎講座と実践講座を受け、京都景観エリアマネージャーとして登録し、京都景観・エリマネ・ネットというネットワークを形成するということです。様々な分野で活動するエリマネが、自主的な研究・研鑽・交流の場を作り、自身の専門を越えた視野や知見を得てスキルアップを図り、互いに学びあい、助け合うプラットフォームとするというこのネットワークが、京都の景観を継続的に支える大きな力になっていると感じました。

京都だけの話ではなく、景観は地域の共有財産なので、施主や建築家の、建物を目立たせたいという思いだ



(↑D分科会 会場からの様子)



(↑二酸化炭素排出量を計る計器は司会の大森さんの私物です。)

けでデザインするのではなく、街並みをつくる自覚をもって建築してほしいということでした。

面白いと思ったのは、太陽光発電は、京都市の景観条例にかかわる地域ではつけていないか、パラペットより出ないように水平につけたりしているが、これからは変わっていくかも知れないとのことでした。昔ながらの建物も残しつつ、カーボンニュートラルに向けた創エネも必要になってきています。

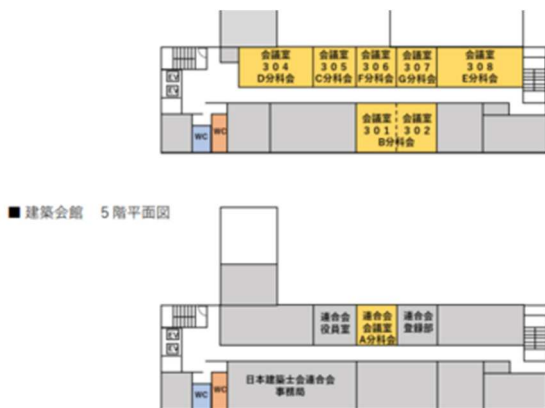


(↑E 分科会 会場からの様子)



(↑会場でいただいた資料の一部)

【分科会会場の位置図】



分科会の始まる前に各分科会会場の様子を撮ってきました。

初めてのハイブリッドでの分科会開催ということで、各会場とも準備で大変そうでした。

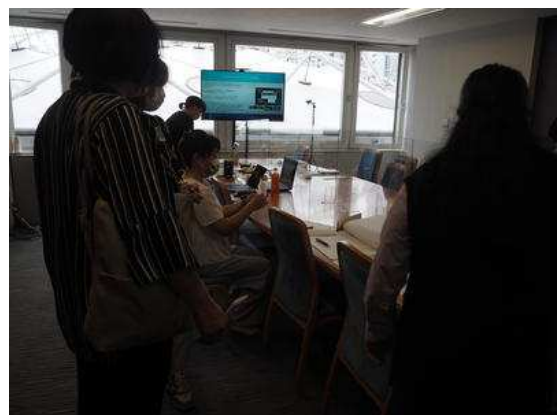
A 分科会 会場の様子(参加総数35名)



B 分科会 会場の様子(参加総数44名)



C 分科会 会場の様子(参加総数31名)



D 分科会 会場の様子(参加総数51名)



G 分科会 会場の様子(参加総数23名)



E 分科会 会場の様子(参加総数20名)



F 分科会 会場の様子(参加総数20名)



セミナー「ZEBとは？」

日 時: 令和4年7月21日(木)

14:00~16:00

会 場: ハートフルスクエアG 研修室 50
(岐阜市橋本町1丁目10番地23)

テーマ: 「ZEBとは？」

講 師: ダイキン工業株式会社

主 催: (一社)岐阜県設備設計事務所協会

共 催: (公社)岐阜県建築士会 女性委員会

参加者: 設備協会: 22名

ダイキン工業関係: 6名

女性委員会: 9名 合計: 37名

◆「ZEBとは？」セミナーに参加して

報告者: 伊藤 麻子

高野さんご夫婦が所属される(一社)岐阜県設備設計事務所協会様が主催、女性委員会が共催という形で、7月21日にダイキン工業(株)様を講師にお迎えして行なわれ、37名の参加がありました。

過去数回私用で欠席していたので、対面でのセミナーで大勢の女性委員と同席できたのも久しぶりで嬉しさひとしおでした。

さて、昨今ますます省エネや高寿命化、CO2 削減が叫ばれて建築分野でも最重要課題となってきましたが、何をどこまで達成すれば良いのか選択肢も多く、技術や法律の変革に知識が追いついていない不安感がつきまといまう。

これを少しでも解消できた大変良い機会でした。

ZEBにはZEH同様、数通りあり

1. 『ZEB』:年間一次エネルギーが正味ゼロまたはマイナスである建築物
2. Nearly ZEB:再生可能エネルギーにより年間一次エネルギーがゼロに近い建築物
3. ZEB Ready:外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物
4. ZEB Oriented:外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備に加え、更なる省エネルギー実現の措置を講じた建築物

建築物の最初の設計コンセプト作りで考慮しておかなければならない重要課題であること、高機能設備機器導入は必要であるが、コストや他の条件を考慮して設計を進める、などわかりやすくご説明いただきました。

当日の会場はコロナ感染対策のため猛暑の中、窓を開放して換気を行っての受講でした。



(↑ 受付の様子)



(↑ 設備事務所協会会長 高野氏の挨拶の様子)



(↑ 講師の東氏)



(↑ セミナーの様子)



(↑ 閉会の挨拶にて、ダイキン HVAC ソリューション東海(株)より参加の皆様紹介)



新会員紹介

◆岐阜支部 青木利佳さん



はじめまして。

今年度、建築士会に入会しました青木利佳と申します。

ゼネコンでの施工管理勤務を経て、現在は都市計画を主とした仕事をしています。アウトドアが好きなので、休日はキャンプに出掛けることが多いです。

今回、女性委員会へ入会させて頂き、女性建築士の方との交流など、楽しそうな活動へ参加が出来ることを楽しみにしております。

今まで、建築士の方との交流がほぼ無く、会社の研修以外の研修や勉強会にも積極的には参加してきませんでした。これからは、知識を深めて自己研鑽に努めるため積極的に勉強会や交流に参加していきたいと思っています。

建築士会、女性委員会の諸先輩方との交流を深めることができると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

◆西濃支部 田中佐企さん



今年度より女性委員会に入会させていただくことになりました、西濃支部の田中佐企です。士会には6年ほど

前に入会し、まちづくり関係で諸先輩方からご指導頂きながら活動しております。

この3月に個人事務所を閉鎖し、岐阜市のまちづくり会社に入社いたしました。他地域と同様、拠点となる「岐阜町」エリア(伊奈波神社周辺)でも、歴史と風情ある建物が次々と空き家になり、気がつけば解体されてしまっています。今後は不動産業と建築設計業に携わり、この町で住みたい、事業を始めたい方と古民家を活用したい所有者様とのご縁繋ぎに注力していきたいと思っております。建築士会、女性委員会の活動を通して、全国の事例に学び、地域の方々に貢献できるよう取り組んでまいりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

◆可茂支部 田口里恵さん



はじめまして。可茂支部の田口里恵と申します。

建築士会に入会した時に女性委員会の入会の案内を頂き、興味もあり参加したいと思いましたが、当時は仕事と子育てで岐阜まで行くのも大変だと諦めて入会することができませんでした。今年可茂支部の方から声を掛けて頂き入会することが出来楽しみにしております。

私は、まだ子供達が小さい頃に建築会社に入社しまして、子育てとの両立は大変でしたが、建築の仕事は私には苦ではなくやりたいと思える事ばかりで楽しく勉強しながらやってこれたと思います。この年になってもまだまだ学ぶ事ばかりですが、

もう何年も前に子供も独り立ちしましたが、中々仕事中心の生活から抜け出せなかったのですが、昨年頃から旅行したりゴルフの練習を始めたり、楽しいことを積極的にやっていこうと色々な事に手を出しています。

建築士会、女性委員会の活動には是非参加させて頂き皆さまとの交流を深めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



編集後記

49号をお届けします。

令和4年度前期(4月～9月)の報告となっています。

昨年同様、新型コロナウイルスの猛威は第7波に入りましたが、行動制限がない為、対面での行事等が多くなりました。

委員会も第1回はWEB会議、第2回は対面、第3回はハイブリッド会議で行いました。

新会員が3名も入会して下さい、うれしい限りです。

今回は「金木屋」をマークに使用しましたがいかがでしょうか

皆様からの投稿はいつでもお待ちしております。

また、編集参加、問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員(長瀬)

公益社団法人 岐阜県建築士会

岐阜市藪田南5丁目14番地12号

岐阜県シンクタンク庁舎4階

TEL 058-215-9361 FAX 058-215-9367

<http://www.gifukenchikushikai.or.jp/>

E メールアドレス kensi578@juno.ocn.ne.jp

※ 女性委員会担当まで宜しくお願い致します

